

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

南区は75歳以上の人口割合が横浜市内でも比較的高い地域であり、各地区のほとんどが住宅地である。長く定住されている方が多く、住民同士の繋がり強い地域性がある。また、地域の歴史や技能を地域全体で様々な機会を通して受け継いでいる風土もある。その一方、核家族化が進み、独り暮らし高齢者が増えてきている。各地区ともに担い手不足が深刻化し、新たな担い手の確保が急務となっている。また、生活環境が変化してきている。

今後の方向性として、地域ケア会議等で地域課題の解決を図り、権利擁護や認知症理解など地域に必要となる情報提供を行い、安心して住むことができる環境づくりを構築する。また、担い手不足が深刻なため、地域に向けてボランティア活動を紹介し、新たな担い手を発掘し活動に繋げていく。地域の多様性に配慮し気軽に話し合える場を提供するためサロンの運営を継続する。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	総合相談では相談者に寄り添い課題解決に取り組む。ケアプラザでの相談だけでなく、自主事業・会議、地域の会合等さまざまな場面で相談を受け付け、状況に応じた支援を行う。また、地域にケアプラザの機能を知ってもらうことで活用を促す。
☐	☒	子育て世代や小学生向けの事業を実施したり、学生ボランティア等の活動を通じて、多世代交流やつながり作りを行う。また、地域の作業所や活動支援センターとの連携により、障がい理解や活動の場を共にする機会をつくっていく。
☐	☒	ケアマネ勉強会『やまさかネット』をケアプラザの施設協力医と協働して開催する。医療関係者と介護事業者との連携が図れ、利用者中心とした支援が円滑に行われるように関係を構築していく。
☐	☒	関係機関と連携を図りながら、新しい活動者の発掘と地域の中で負担のない見守り活動やボランティア育成を行う。
☐	☒	チームオレンジ事業を中心に認知症の理解を深める取り組みを実施することで、認知症の方と家族が共に地域の中で安心して生活することができる地域づくりを進める。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント

令和8年度永田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理簿)
取組計画	包括支援センターが要介護者等から相談を受け、委託先となる居宅介護支援事業所を選択するにあたり、適切な情報提供を行い利用者や家族が自身の考えのもと選んでいただけるよう支援する。具体的には、『ハートページ』で情報提供を行い、多様な事業所から選んでいただく体制を整える。また、選択された事業所をカウントすることにより、大幅な偏りが発生しないようにチェックする。	事故防止策では、「横浜市地域ケアプラザ・事故防止の手引き」を職員がいつでも閲覧できる場所に置き意識向上に努める。また、「手引き」をテキストとして内部研修で活用し、事故の予防に努め、事故発生時には事故対応マニュアルに則り対応を行えるように備える。「防げる事故は起こさない」「事故は未然に防ぐ」を目的とし「ヒヤリハット報告書」を活用することでリスク管理を行いその防止に努める。 事故発生時は、初動対応を正確かつ迅速に行い、関係機関に連絡、報告を義務づける。また、再発防止の為に「報告書」の作成を行い、職員全員に回覧する。通所介護では、事故防止の意識が向上するように月例の会議や毎日のミーティングで事故事例の検証や事故予防の啓発を行う。 法人の「個人情報保護に関する基本方針」及び「個人情報管理規定」に基づき個人情報の管理保護に努める。個人情報のFAX送信時、郵送時には必ず二人体制でダブルチェックを行い、誤送付防止に努める。職員全体会議時に個人情報保護の取り扱いについての研修を行う。USBメモリは原則使用せず、特別に必要と認められる場合を除き(出前講座など)USBメモリの持ち出しをしないように徹底する。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業では、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立支援を促す。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。要支援1・2、総合事業対象者の利用者は毎月230件前後の担当を行っている。このうち70%程度を居宅介護支援事業所に委託する。	ケアプラン作成にあたっては、利用者の身体の状態や生活環境を考慮し、介護保険制度の理念でもある自立を支援する。また、ケアマネジメントの展開が難しい方(高齢者虐待など)は、地域包括支援センター職員と相談し関係機関と協働して支援する。 介護支援専門員常勤換算あたり1名の契約目標を要介護者を35名とする。また、包括支援センターと協働し、要支援の利用者8名程度担当する。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	地域包括支援センター職員が中心となり、総合事業対象者や要支援の認定を受けた利用者のニーズを把握し、介護予防サービスを適切に受けられるように計画策定及び支援を行う。地域包括支援センターが担当している利用者については、居宅介護支援事業と協力し3職種の仕事に影響が出ないように調整しながら対応する。 管理者 1名(常勤兼務) 保健師(看護師) 1名 主任ケアマネジャー 1名(常勤兼務) 社会福祉士 2名	管理者 1名(常勤兼務) 主任介護支援専門員 1名(常勤) 介護支援専門員 2名(常勤兼務1名)
契約者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	通所介護では、『地域に必要とされるデイサービス』を目標に掲げ、安全で安心して利用できるデイサービスを目指す。利用者のニーズを十分に把握し、利用者一人一人に寄り添った支援を実践する。体操やレクリエーションを通した機能訓練の充実や食事などの日常生活の支援を利用者の意向を踏まえ提供し、いつまでも健康で生活できるよう支援する。また、高齢者ボランティアを積極的に受け入れ、地域での社会参加の機会を提供する。またサービスの質を向上させるため、定期的な職員研修を実施する。安定した運営のために、新規利用者の継続的な確保、稼働率の向上を目指す。		
実施体制	【実施日数】 週 7 日 【提供時間】 9:30～16:30 【定員】 40名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 食費負担 850 円	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名(常勤兼務) 生活相談員 4名(常勤兼務4名) 看護職員 6名(非常勤兼務6名) 機能回復訓練指導員 6名(非常勤兼務6名) 介護職員 15名(常勤兼務3名、非常勤兼務12名) 運転手 5名 事務員 1名(常勤兼務1名)		
契約者数等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和8年度「横浜市永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	24,234,947	0	24,234,947	0	24,234,947	横浜市より
内 受領額	24,234,947		24,234,947		24,234,947	
内 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）	50,000		50,000		50,000	お祭り売上
雑入	40,000	0	40,000	0	40,000	
印刷代	16,000		16,000		16,000	
自動販売機手数料	24,000		24,000		24,000	自販機販売手数料
その他			0		0	経常経費寄附金収入
その他	1,406,000		1,406,000		1,406,000	サービス区分間繰入収入
収入合計	25,730,947	0	25,730,947	0	25,730,947	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,845,603	0	12,845,603	0	12,845,603	
本俸	11,753,074		11,753,074		11,753,074	
社会保険料	900,017		900,017		900,017	
手当計			0		0	
健康診断費	65,734		65,734		65,734	
勤労者福祉共済掛金			0		0	
退職給付引当金繰入額	126,778		126,778		126,778	
その他			0		0	
事務費	2,041,514	0	2,041,514	0	2,041,514	
旅費	5,000		5,000		5,000	
消耗品費	110,000		110,000		110,000	日用品、消耗品、事務用品
会議随い費	30,000		30,000		30,000	会議飲料代
印刷製本費	5,000		5,000		5,000	名刺、封筒
通信費	300,496		300,496		300,496	
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
その他			0		0	
備品購入費			0		0	
図書購入費			0		0	
施設賠償責任保険	24,500		24,500		24,500	
職員等研修費	35,000		35,000		35,000	研修会費
振込手数料			0		0	
リース料	52,800		52,800		52,800	複合機、新規AED
手数料	9,000		9,000		9,000	PC設定料等
地域協力費			0		0	
公租公課	1,212,103	0	1,212,103	0	1,212,103	
事業所税			0			
内 消費税	1,212,103		1,212,103			
内 印紙税			0			
その他			0			
その他	236,495		236,495		236,495	災害対策、書類処分、粗大ゴミ処理、カウンター科、カーテンクリーニングシステム保守等、広報費、渉外費、諸会費
事業費	413,000	0	413,000	0	413,000	
自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）	413,000		413,000		413,000	指定管理事業費
その他			0		0	
管理費	6,671,694	0	6,671,694	0	6,671,694	
光熱水費	4,858,000		4,858,000		4,858,000	
清掃費	252,083		252,083		252,083	床・窓ガラス・受水槽・排水管
機械整備費	81,756		81,756		81,756	
設備保全費	1,393,230	0	1,393,230	0	1,393,230	
空調衛生設備保守	345,515		345,515		345,515	
消防設備保守	53,531		53,531		53,531	
電気設備保守	525,758		525,758		525,758	電気設備・ポンプ・昇降機・自動ドア
害虫駆除清掃保守	38,932		38,932		38,932	
駐車場設備保全費			0		0	
その他保全費	429,494		429,494		429,494	設備総合・節水器リース・植栽管理
共益費			0		0	
その他	86,625		86,625		86,625	廃棄物処理料
修繕費	474,000		474,000		474,000	
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	408,000		408,000		408,000	固定資産取得支出
内	408,000		408,000			
支出合計	22,853,811	0	22,853,811	0	22,853,811	
差引	2,877,136	0	2,877,136	0	2,877,136	

自主企画事業費 収入	50,000	0	50,000	0	50,000	
自主企画事業費 支出	413,000	0	413,000	0	413,000	
自主企画事業 収支	△ 363,000	0	△ 363,000	0	△ 363,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	24,000	0	24,000	0	24,000	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	2,880	0	2,880	0	2,880	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。

令和8年度「横浜市永田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	35,035,399	0	35,035,399	0	35,035,399	横浜市より
内 受領額	35,035,399		35,035,399		35,035,399	
内 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	100,000		100,000		100,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,324,850	0	6,324,850	0	6,324,850	横浜市より
内 受領額	6,324,850		6,324,850		6,324,850	
内 戻入額					0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】			0		0	
自主企画事業収入（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料			0		0	
内 その他			0		0	
その他	3,595,719		3,595,719		3,595,719	サービス区分間繰入金収入:700,000 利用料金の活用:2,895,719
収入合計	45,209,968	0	45,209,968	0	45,209,968	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,452,162	0	33,452,162	0	33,452,162	
内 本俸	28,351,715		28,351,715		28,351,715	
内 社会保険料	4,480,899		4,480,899		4,480,899	
内 手当計			0		0	
内 健康診断費	82,341		82,341		82,341	
内 勤労者福祉共済掛金			0		0	
内 退職給付引当金繰入額	537,207		537,207		537,207	
内 その他			0		0	
事務費	3,617,140	0	3,617,140	0	3,617,140	
内 旅費	16,000		16,000		16,000	
内 消耗品費	110,000		110,000		110,000	消耗品、事務用品
内 会議随い費	5,000		5,000		5,000	会議飲料代
内 印刷製本費	10,000		10,000		10,000	名刺、封筒
内 通信費	410,992		410,992		410,992	
内 使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）			0		0	
内 その他			0		0	
内 備品購入費			0		0	
内 図書購入費			0		0	
内 施設賠償責任保険	50,000		50,000		50,000	
内 職員等研修費	20,000		20,000		20,000	研修会費
内 振込手数料			0		0	
内 リース料	105,600		105,600		105,600	複合機、新規AED
内 手数料	18,000		18,000		18,000	PC設定等
内 地域協力費			0		0	
内 公租公課	2,474,565	0	2,474,565	0	2,474,565	
内 事業所税			0		0	
内 消費税	2,474,565		2,474,565		2,474,565	
内 印紙税			0		0	
内 その他			0		0	
内 その他	396,983		396,983		396,983	災害対策、書類処分、粗大ゴミ処理、カーテンクリーニング、カ ンター料、システム保守、広報費
事業費	1,214,000	0	1,214,000	0	1,214,000	
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【包括】	30,000		30,000		30,000	指定管理事業費
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【介護予防】	154,000		154,000		154,000	指定管理事業費
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【生活支援】	100,000		100,000		100,000	指定管理事業費
内 自主企画事業費（指定管理料充当の自主企画事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	指定管理事業費
内 その他			0		0	
管理費	1,772,100	0	1,772,100	0	1,772,100	
内 光熱水費	1,290,000		1,290,000		1,290,000	
内 清掃費	67,005		67,005		67,005	床・窓ガラス・受水槽・排水管
内 機械警備費	21,732		21,732		21,732	
内 設備保全費	370,340	0	370,340	0	370,340	
内 空調衛生設備保守	91,845		91,845		91,845	
内 消防設備保守	14,229		14,229		14,229	
内 電気設備保守	139,756		139,756		139,756	電気設備・ポンプ・昇降機・自動ドア
内 害虫駆除清掃保守	10,348		10,348		10,348	
内 駐車場設備保全費			0		0	
内 その他保全費	114,162		114,162		114,162	設備総合・節水器リース・植栽管理
内 共益費			0		0	
内 その他	23,023		23,023		23,023	廃棄物処理料
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
その他	1,189,000	0	1,189,000	0	1,189,000	
内 雑入	1,189,000		1,189,000		1,189,000	サービス区分間繰入支出 生:629,000 固定資産取得支出
支出合計	41,370,402	0	41,370,402	0	41,370,402	
差引	3,839,566	0	3,839,566	0	3,839,566	

自主企画事業費 収入	0	0	0	0	0
自主企画事業費 支出	584,000	0	584,000	0	584,000
自主企画事業 収支	△ 584,000	0	△ 584,000	0	△ 584,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和8年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書＜介護保険事業分＞

施設名:横浜市永田地域ケアプラザ

令和8年4月1日～令和9年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,580		7,580	9,730		9,730	20,426		20,426	110,981		110,981	8,240		8,240
	その他	0	0	0	0	0	0	132	0	132	3,234	0	3,234	0	0	0
	事業・負担金収入			0		0	0		0	0			0			0
	委託事業収入			0		0	0	132		132			0			0
	受取利息配当金収入			0		0	0			0	130		130			0
	利用者等外給食費収入			0		0	0			0	224		224			0
	拠点区分間繰入収入			0		0	0			0	2,251		2,251			0
	サービス区分間繰入収入			0		0	0			0	629		629			0
	収入合計(A)	7,580	0	7,580	9,730	0	9,730	20,558	0	20,558	114,215	0	114,215	8,240	0	8,240
支出	人件費			0			0	27,170		27,170	68,356		68,356			0
	事務費			0			0	1,049		1,049	4,810		4,810			0
	事業費			0			0	11		11	10,611		10,611			0
	管理費			0			0			0	12,800		12,800			0
	その他	7,199	0	7,199	5,656	0	5,656	874	0	874	12,769	0	12,769	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0	0		0	13		13			0
	介護予防プラン委託料	7,199		7,199	5,656		5,656			0			0			0
	固定資産取得支出			0			0	874		874	474		474			0
	利用者等外給食費支出			0			0			0	224		224			0
	拠点区分間繰入支出			0			0			0	3,139		3,139			0
	サービス区分間繰入支出			0			0			0	3,919		3,919			0
	その他			0			0			0	5,000		5,000			0
	支出合計(B)	7,199	0	7,199	5,656	0	5,656	29,104	0	29,104	109,346	0	109,346	0	0	0
収支 (A)－(B)		381	0	381	4,074	0	4,074	-8,546	0	-8,546	4,869	0	4,869	8,240	0	8,240

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和8年度 自主企画事業(指定管理事業)計画書・報告書

■ 事業	■ 事業の性質	■ 主な対象者、従たる対象者
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることを ねらいとした事業	1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	永田支えあい祭り	H15年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	地域の活性化と異世代交流のネットワークづくり	5:地域	1,2,3,4,5,6,7	実施内容:地域で活動している福祉保健活動団体をPRする場としてブース出店等を行なう。祭りの運営については、地区社協を中心としたメンバーを含めた実行委員会形式で進める。 実施回数: 1回 実施時期: 10月下旬
2	子育てサロンたんぽぽ	H14年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	未就園児とその保護者を対象にしたサロン	3:養育者及び乳幼児		実施内容:ボランティアが子ども達を見守り、自由に遊べるスペースを提供。水遊びやクリスマス会など季節に合った遊びも楽しむ。近隣の永田保育園や南聖心幼稚園による出前講座も数回実施する。 実施時期: 毎月第1木曜日、第3日曜日、第4水曜日
3	永田囲碁・将棋クラブ	H16年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	囲碁将棋を通じた地域住民の交流	5:地域		1 実施内容:大人向けの囲碁将棋クラブ 実施時期: 毎月第2・第3土曜日
4	国際交流事業	R8年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	外国の文化を通じた地域住民の交流	5:地域		実施内容:外国の言語・遊び・料理などを通じて、地域交流や多世代交流を図る。 実施時期: 未定
5	お楽しみ講座	H15年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	誰もが気軽に参加できる講座を行う事で、普段ケアプラザを利用していない方に、ケアプラザを知ってもらう機会とする。	5:地域		実施内容:地域ニーズに合わせた講座を実施する。地域人材の特技を活かした講座実施の場ともなる。 実施回数: 不定期
6	夏休みの小学生向け事業	H19年	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	夏休みに小学生が参加できる事業を通じて、夏休み期間中の居場所の創出やケアプラザを知ってもらうきっかけづくりを目指す。エリア内の小学校との連携も図る。	4:子ども・青少年		5 実施内容:小学生が体験できる講座やワークショップ等を行なう。ケアプラザの機能周知や地域交流にもつなげる。 実施時期: 7～8月
7	ボランティア交流会	R7年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ケアプラザで活動するボランティアの交流の場作り。 職員より日頃の活動の感謝を伝える場ともなる。	5:地域		実施内容:活動しているボランティアとの意見交換会やボランティア同士の交流。 実施回数: 1回
8	永田deはぐくむ わくわく教室	H29年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	主に、赤ちゃん学級(1歳未満の第1子など)の対象とならない、あるいは卒業した保護者を対象に、(保育園入園前の)保護者同士の交流と地域とのつながりづくりを目指す。	4:子ども・青少年		3 実施内容:講義や実習を通し、親と子が楽しく学び、集う講座を開催する。南区地域子育て支援拠点「はぐはぐの樹」と協働で、講話や体操、ワークショップ等を企画する。 実施時期: 8回 実施時期: 11月～3月
9	クラフト講座	R8年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	・地域住民の特技を活かした場の提供 ・クラフト講座を通じて、新たな福祉保健活動団体の創出につながると尚望ましい	5:地域		実施内容:デコパージュを中心としたクラフトを実施する。 実施時期: 未定
10	永田星空観察会	H30年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	小学校PTAや学校地域連携コーディネーターと連携を図り、地域向けに講座を開催することで、ニーズを把握するとともに、エリア内の小学校との連携を図る。	4:子ども・青少年		5 実施内容:星空観察会など 実施時期: 不定期

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
11	貸館団体 大掃除交流会	R6年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	ボランティアをする機会の提供と参加者間の交流を図る。	5:地域		実施内容:館内及び施設周辺の清掃と、掃除終了後に、茶話会を開催する。 実施回数:1回 実施時期:10月予定
12	心づもり講座@UR	R6年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	高齢化する地区で、終活につながる講座を実施。	1:高齢者		実施内容: ①知っておきたい医学知識 ②生前整理のすすめ ③暮らしに役立つ法律の話 ④介護保険のサービスと介護施設について
13	スリーAぼたんの会	H30年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	地域の高齢者の参加の場としてスリーAプログラムを導入する。	1:高齢者		実施内容:認知症予防プログラム「スリーA」を取り入れた集いの場。 実施回数:月1回程度
14	永田音楽カフェ	R6年度	5:共催(1と3)	2:発展させるねらい	地域の高齢者の参加と交流の機会として実施。	1:高齢者		実施内容:地域のボランティアによるコーヒーの提供と真空管アンプによる音楽鑑賞会 実施時期:不定期
15	地域のお出かけを考える会議 (地域交通チーム)	R1年度	3:生活支援体制整備事業	2:発展させるねらい	主に南永田山王台地区の高齢者が外出しやすくなるよう、協議をする場	5:地域		実施内容:地域の関係団体・有志とで地域交通について検討する。
16	認知症サポーター養成講座	H22年度	6:共催(2と3)	2:発展させるねらい	地域における認知症普及啓発を行っていく。	5:地域		実施内容:認知症の普及啓発を地域に浸透させ、認知症になっても安心して生活できる町づくりを行う。 実施時期:未定
17	認知症キッズサポーター養成講座	H22年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	子供たちに認知症のことについて正しく伝えることで、身近にいる認知症高齢者に対して優しい気持ちで向き合えるようにする。また実際に認知症高齢者に出会った場合どのような対応をしたら良いか、考えてもらう。	4:子ども・青少年		実施内容:永田小、永田台小の5年生を対象とする講座の開催 実施時期:各校1回
18	ケアマネジャー勉強会	H26年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	ケアマネネットワークに登録しているケアマネジャーの自主的な活動とし、ケアマネジャーのスキルアップ(医療的な知識)を目的とする。また、地域のケアマネジャー同士の顔の見える関係性を構築する。	6:事業者		実施内容:輪番制で担当事業所を決め、事例検討を持ち込んでもらう。疾病勉強などケアマネ業務に関するものを勉強していく。また協力医の協力を得てケアマネの医療に関する知識の向上につとめていく。 実施時期:月2回
19	民生委員とケアマネ交流会	H26年度	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	民生委員とケアマネジャーの交流を通して『顔の見える関係』を構築し、高齢者を支援しやすい環境を作る。	5:地域		地域課題を共有することで、顔の見える関係性をつくり、それぞれの役割を理解した上で地域支援に役立てる。 実施時期:年に2回程度
20	介護者サロン	H26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護にかかわる地域の方を対象に介護についての悩みなどを共有し介護に役立てる。	1:高齢者		実施内容:ケアプラザを会場として、介護者の話を包括職員が聴き、状況に応じてアドバイスを提供する。 実施時期:2ヶ月に1回
21	フードパントリー	R4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ひとり親世帯など主に「子育て中で食品支援が必要な家庭」を対象に実施。支援が必要な家庭は、孤立しがち傾向にあるので、地域とつながるきっかけづくりを目指す。	3:養育者及び乳幼児		実施内容:ケアプラザを会場として、対象世帯へ食料品等の配布する。 実施時期:月1回
22	認知症フレンドリー講座	R7年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症チームオレンジ事業のスタートアップとして講師による講演会を実施。認知症について本人・家族の視点から捉えることを目的として実施。	5:地域		実施内容:地域内の特別養護老人ホームの地域交流室を借り、講演会形式で開催。 実施時期:令和8年11月

■ 事業			■ 事業の性質			■ 主な対象者、従たる対象者		
1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
23	みんなでウォークラリー	R5年度	5：共催（1と3）	2：発展させるねらい	令和3年度地域ケア会議で地形の課題をポジティブにとらえる「坂道ポジティブ」の継続支援。地域の活動団体と共催し、ウォークラリーを企画。	5：地域		実施内容：永田ケアプラザ周辺のウォークラリー 実施回数：1回
24	いきいきサロンdeフレイル予防	R8年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	フレイル予防のために必要な運動習慣を身に着ける。高齢期に必要な食事と口腔ケアについてを学び、健康習慣を身に着ける。住民の通いの場、フレイル予防を身に着ける場として、今後自主化も視野に入れて展開。	1：高齢者		実施内容：団地の集会所にて実施。主に団地住民を対象。R6度より継続して年間を通してフレイル予防講座を団地で実施。URと協力して、講師を招いての体操、口腔、栄養についての講座。
25	心づもり講座@ケアプラザ	R6年度	6：共催（2と3）	1：優先的に取り組み	高齢者自身や家族のこれからに向けた「心づもり」に関する講座を通じ、将来に備えるきっかけになるよう働きかける。	5：地域		実施内容：自分と家族のこれからについて考えるきっかけとなる講座
26	オレンジパレット永田	R6年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	地域住民同士や、講師や関係機関との交流、繋がり場の場としても機能する。子どもからご高齢の方まで多世代の方が集まることができる。	5：地域		実施内容：ホール内にテーブルや椅子を出し、飲食しながらゆっくりくつろげるスペースをつくる。時間内で、1時間ほど講座やワークショップなどのプログラムを行なう。地域活動支援センターの出張販売も同時開催する。 実施回数：月1回
27	世代間交流イベント	R7年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	小中学生と高齢者の交流機会を創出する。	4：子ども・青少年		近隣小学校の生徒とデイサービスの高齢者が交流を図ったり、ボランティア活動や福祉体験等を通じて中学生との交流を図る。 実施時期：不定期
28	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	R7年度	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	65歳以上の方が介護施設等でボランティア活動を行うとポイントが貯まり寄付や換金できる仕組み。ケアプラザで研修会を実施することで、より身近な地域の方にポイントカードを取得してもらえる。ボランティア活動のきっかけにもなる。	5：地域		実施内容：ポイントカード事業の概要、ボランティアの基礎知識、ボランティア活動の内容について約90間の研修会を受講してもらう。 実施回数：1回
29	夏休み小学生宿題終わらせちゃおう！	R7年度	1：地域活動交流事業	2：発展させるねらい	・小学生の学習支援 ・地域ボランティア活躍の場の拡大 ・ボランティアと小学生の世代間交流	4：子ども・青少年		実施内容：夏休み期間中に、宿題を教えしてくれるボランティアが常駐しており、小学生と学びや遊びの時間を共にする。 実施時期：7～8月